

聖霊降臨第 19 主日・永眠者記念礼拝説教要旨(10 月 12 日)

『キリストの言葉』 ローマの信徒への手紙 10:9-17 早川 真牧師

神はいつの時代もご自分のことを伝えるために宣べ伝える者を遣わされました。神はかつてイエス・キリストが世に来られる以前は預言者を通して、イエスが世に来られている間はイエスを通して語られました。そしてイエスが天に帰られてからはイエスの弟子たち、つまりクリスチャンを通して語られています。そのようにしていつの時代も神の言葉は語られ続けてきました。それは神がいつの時代も人を愛しておられるからです。

イエス・キリストはご自分を信じ受け入れた人を通してご自分のことを伝えられます。イエス・キリストの霊である聖霊はいつの時代も人の内に働いてキリストの言葉を語り続けておられます。そして聖霊は、キリストを信じずでに天に召された方の存在をも通して今も語っておられると言えます。それはまるでこのローマの信徒への手紙がパウロの遺言のようなものであるように、その人の生涯を通して語られた遺言のようなものです。

私たちの敬愛する先達たちからかつてかけて頂いた言葉や、示してくださった行いの一つひとつに、キリストの言葉があります。私たちはこのひと時先に召されたお一人お一人のお姿を思い浮かべつつ、その方々を通して語られるキリストの言葉を心を開いて受け取ってまいりたいと思います。キリストは今も生きておられ、私たちが救いを求めてイエス様！と呼び求めるのを待っておられます。

私たちの敬愛する先達たちによって今もなお語られているこのキリストの言葉を、心で信じ口で告白することによって豊かな恵みを共に受け、主への賛美と感謝に満たされて歩んでまいりたいと思います。